

第6回 韓国ミッション・スタディー青年ツアー のお知らせ（第一信）

主のみ名を賛美いたします。

主の豊かな恵みのもと、諸教会・伝道所のみなさまにおかれましては、ますます主の働きにお励みのことと存じます。

さて、2017年2月、日韓・在日連帯特別委員会、連盟宣教部共催で、連盟の中長期大綱『和解のつとめに仕える』に基づき、アジアにおける宣教の広がり、協働する力を持った信徒の育成を願い、第6回韓国ミッション・スタディー青年ツアーを行います。

戦後71年経った現在も、日本の隣国である韓国との間に歴史認識のずれが存在しています。キリストにある和解の福音を韓国の隣人と分かち合おうとする時、私たちは、歴史を知り、真実の悔い改めを頂いて、主にある交流を深めて行きたいと願います。今回は特にプログラムの中で、韓国教会の青年たちと一緒に歴史現場を訪ね、歴史認識の課題を分かち合います。

また、このツアーが、あらゆる違いを持つ者たちが、共に生きようとする感性を養う時となるよう期待しています。

どうぞ貴教会・伝道所の青年に呼びかけていただき、参加者を派遣下さいますよう、お願い申し上げます。

主において

日程・・・**2017年2月23日 [木] ~2月27日 [月]**

4泊5日の旅

- 訪問地・・・韓国・ソウル（出発地は福岡、東京を予定）
- 募集人員・・・10名（バプテスト連盟加盟教会の青年会員 18歳以上 35歳まで）
- 参加費・・・個人負担約 70,000円（世界祈禱献金により補助された特別費用です）
参加費に含まれるもの・・・航空券（日本-韓国の国際線分）、宿泊、海外旅行保険、現地での食事、施設入場費。
日本国内交通費は自己負担ですが、往復1万円を超えた分が補助されます。
- 歴史の現場訪問予定地
・・・タプコル公園、休戦線展望台、西大門刑務所、
ナヌムの家、アジア平和・歴史教育連帯、香隣教会、他
(詳しくは裏面ご参照ください)

➤ **申込み締切 2016年11月末**

※パスポート未取得の方は、[申し込みまでに取得をしてお申し込みください。](#)

※パスポートの有効期限が2017年5月31日以前の方は[更新・取得してお申し込みください。](#)



第5回ツアー タプコル公園 独立宣言文前

●お問い合わせは日韓・在日連帯特別委員会、または国外伝道室までお願いいたします。●

委員会：松坂（委員長・旭川東光教会）

Tel・・・0166-35-1960

国外伝道室：井形・丁野

Tel・・・048-883-1091

主な訪問予定先

▼タプコル公園

三・一独立運動の発祥地で、ここで独立宣言書が読み上げられたところ。周りの壁には独立運動の様子が立体的に分かる書版がある。

▼少女像（日本大使館前）

2011年11月14日、水曜デモの1000回20年を記念して建立したもの。

▼休戦線展望台

海兵隊の軍事施設の中にある展望台としてイムジン川を挟んで向こう側に北朝鮮を間近に見ることが出来る場所。

▼^{ソデムン}西大門刑務所

日本の朝鮮総督府が建てた刑務所で、朝鮮の独立運動家をおもに収監し、弾圧した。解放後も近年まで韓国の民主化運動のために捕らえられた政治犯が収監された刑務所。植民地時代の刑務所として唯一保存され、公開されている。

▼ナムムの家

「ナムム」とはハングルで「分かち合い」という意味で、この「分かち合いの家」では、元日本軍「慰安婦」の韓国人ハルモニ（おばあちゃん）たちが共同生活を送っている。

▼^{ヒョソリン}香隣教会

朝鮮戦争が終わった1953年、廃墟地のソウルに安炳茂など12人の信徒を中心に韓国社会に新しい信仰共同体を示そうと始められた。150人程度の規模でそれ以上となると株分けをして「開拓」（※）伝道を行っている。礼拝の奏楽に民族楽器を用いたり、主の晩さんでは韓国の伝来のお餅を用いたりして、民族文化を積極的に礼拝に取り入れている。民衆教会や、外国人労働者、農村宣教、南北統一・人権宣教などに働きかけている教会。

※「開拓」伝道の「開拓」という言葉には、北海道の先住民の人権や問い返してさなくてはならないテーマが含まれていますので、宣教部ではかぎっこ「」を付けて使用しています。